

時代は<確かな学力>から、状況の変化に強い『強(したたか)な学力』へ
21世紀型の学力育成で《対話や言語活動・協働》はどう扱われるのか?!

1月18日発売! 「疑問だらけの協働学習」

—300の教室から観えた課題と工夫—
梶浦 真 著



★これからの指導要領で「考え合い」や「かかわり合い」はどう位置づくの? 消えてゆくのか、それとも……

★実際の授業や校内研修では何が問題になっているのか。時間不足、考え合いの停滞、学力差、意欲差、他者と関わるのが苦手な子……その時どうする?

★300の授業から観えた実践的課題と対応術(策)をコンパクトな一冊に
A5版 98頁 ¥980(税込)

★目次から抜粋

I 「変化する知識観と協働的な学習」(現状)

- ・理想と現実の狭間から実践を見る
- ・協働学習という理想と教室の現実
- ★ちょっと一息①『グループ学習化する社会』
- ・伝達型授業批判は正しいか?
- ・協働学習と学力向上の相関関係
- ・テスト学習的学力の弱点と課題
- ・21世紀型の学力が教科学習を変える?
- ・未来型学力/実践型学力の台頭
- ・对人的実践力と対物的実践力

★ちょっと一息②『子どもの精神を蝕むスマホ依存症』

- ・協働は指導の方法なのか、それとも育てるべき能力なのか
- ・学校教育における教育目標の変化
- ・目標化する对人的実践力と教科学習の課題
- ・知識の基礎と能力の基礎
- 「学」と「力」の間にある関係-
- ・実践的指導力は具体的事例から学ぶ

- ・子どもの発言やノートを響財化する
- ・協働集団の大きさはどう決める?
- ・グループでの活動時間はどの程度必要か
- ・協働の質を高める介入とは?
- ★ちょっと一息④『楠の木学習と梅の木学習』
- ・グループ毎の考えの差にどう対応するか
- ・子どもの意欲の差・学力差を考える
- ・中学では教科を通した学級づくりが肝
- ・子どもの個性を引き出す教師の個性
- ・授業の流れを構想する四つの柱
- ★ちょっと一息⑦『個別指導と協働学習はどちらが効果的?』

- ・子どもの対話力を育てる
 - ・言語活動と思考力の関係
 - ・子どもの意見が、子どもにわかりやすい授業
 - ・子どもの発言を聞き、聞き分ける
 - ・個の考えの持たせ方は多様
 - ・对人的ストレスに対処できる力を育てる
 - ・ワーク・シートからノート・フォリオへ
 - ・教師の協働的研究体制の構築と効果
- あとがき 優れた指導技能は具体授業の中にある

II 「授業実践の工夫と協働的な学び」(実践)

- ・協働的な学びに見る教師の役割

第一章(論理と現状が約30頁) 第二章(実践の工夫が約60頁)

発送先住所 〒 —	発送先 勤務先・自宅
担当(ご注文)者名	
学校名	連絡先 ☎ — —
	注文冊数 刷 公費・私費

350-0811 埼玉県川越市小堤 658-4 (有)教育報道出版社
ホームページ <http://www.e-hodo.com/> (好評「論壇」連載中)

ご注文受付 ファックス 049-299-7738
注文連絡用メールアドレス info@e-hodo.com